

# 淡路島の甲虫相

(兵庫県産甲虫相資料・56)

高橋 寿郎

はじめに

本年3月7日兵庫県生物学会30年記念出版「兵庫の生物記」の原稿読み合せの会が明石高校の生物講義室で開かれ、その席上で登日邦明氏にお目にかかり、色々お話をした際本年は淡路昆虫同好会の創立10年になるので、Parnassiusを特集号にしたいから何か原稿を書くようにとの依頼を受けた。そこで淡路島の甲虫相に就いての総括的なものをまとめて発表させて頂くことにした。

兵庫県下の甲虫相調査に就いては既に40年近く続けており、数多くの記録業績も整理され、1976年現在101科、2634種をまとめることが出来ている。淡路島の甲虫相も可成りまとまっており、兵庫県下で淡路島にのみ分布が知られている種もあり、この島の甲虫相もなかなか面白いものがある。

淡路島での甲虫相に就いては地元の堀田久氏(1958~1975)を始め、大野正男氏の淡路島のハムシ類(1969, 1970)と愛媛大学農学部昆虫学研究室の方々による調査報告(1973, 1974)がその大部分を占め、筆者自身の北部地区における数回にわたる採集調査結果をも合せてその大部分がまとめられていることになる。尚、引用文献名については一切省略した。1974年末迄のものについては筆者自刊「兵庫県産甲虫類に関する文献目録, 1975」を参照して頂きたく、1975年以後のものについては近くこの目録の改訂版を発刊予定しているのでそれを参照して頂きたい。

末文で恐縮だが、本報告発表の機を与えて下さった登日邦明氏に厚くお礼申し上げたい。

## 淡路島の甲虫類

淡路島に産する甲虫類で現在記録されている科別の種類数と現時点で同島にのみ産すると考えられる種名(兵庫県下で他に記録のない種)を記し、注目すべき種に若干の解説を試みた。(種数の後の括弧内の数は兵庫県産の種類数)

### 1. セスジムシ科 (Family Rhysodidae), 1種(2).

チャイロヒラタセスジムシ *Clindium veneficum* Lewis. この科のものは枯木とか樹皮下に見られるようであるが、その生態は不明な群で堅固な体の背面に刻まれた深い条溝や頑丈な数珠状の触角によって特徴づけられる。世界から120種知られており日本産は2属7種で兵庫県下からは2種記録されている。この種は先山からのみ知られており(久松, 1974)。他の1種は扇の山に産する。

### 2. ヒゲブトオサムシ科 (Family Paussidae), 1種(1).

3. ハンミョウ科 (Family Cicindelidae), 2種 (10)

ヨドシロヘリハンミョウ *Cicindela nivivincta yodo* Nakane, 沼島からの記録がある(石田, 1970)。尼崎市市内での産が絶滅したのではないかとされているだけに沼島にいてほしいものである。ハンミョウ科については淡路島のような環境であればもっと分布種がいると考えている。

4. オサムシ科 (Family Carabidae), 35種 (271).

アキオサムシ *Apotomopterus japonicus chugokuensis* Nakane, 先山での記録がある(久松, 1973. 日浦, 1971)。この種は中国地方に分布する種で現在篠山が東限地として知られているが兵庫県下の分布は割合限定されている種である。先山(洲本市), 篠山(多紀郡), 以外に出石町(出石郡), 大槻山, 船越山(佐用郡), 水の山(養父郡)の産地が知られている。篠山には個体数が多いようであるが大槻山では余り多くない(筆者は9♂, 13♀採集している)。

オオヒョウタンゴミムシ *Scarites sulcatus* Olivier, 吹上の浜にいたことが記録されており(堀田, 1973. 奥谷, 1975), 戦前兵庫県瀬戸内側海岸線沿いに分布しており, 特に浜ノ宮あたりに多く産することで有名であったが, 戦後海岸線そのものが全く変ってしまい砂浜など皆無の状態では本種がいるのかどうか分からない状況下で淡路島には確実にいることがわかり大変うれしい。

チャイロホソヒラタゴミムシ *Agonum (Atranodes) kyushuensis* Habu, 福良(久松, 伊藤, 1973), 兵庫県他の地での記録が無い, 良く似た種が多いので同定が困難である。

5. コガシラミズムシ科 (Family Haliplidae), 1種 (6).

6. ゲンゴロウ科 (Family Dytiscidae), 4種 (36).

スジゲンゴロウ *Hydaticus vittatus* Fabricius, 淡路から採集されているという記録がある(関, 1945)。残念ながら詳しい産地採集年月日が無い, 県下でも今の所全く記録が無い種である。

7. ミズスマシ科 (Family Gyrinidae), 3種 (7).

8. ガムシ科 (Family Hydrophidae), 2種 (34).

9. エンマムシ科 (Family Histeridae), 4種 (23).

アラメエンマムシ *Hister punctulatus* Wiedemann, 岩屋で1ex., 採集しているが(26-IV-1959), 県下どこにも記録がない。

10. ムクゲキノコムシ科 (Family Ptiliidae), 2種 (2).

エビチャハバネムシ *Acrotrochis cursitans* (Nietner), ムナグロムクゲキノコムシ *A. lewisii* (Motthews) 共に福良からの記録で(久松, 1973)。この科のものは兵庫県下から2種が知られているだけで2種共淡路島産の特産種である。

11. タマキノコムシ科 (Family Leiodidae). 2種 (10).  
 オオサワタマキノコムシ *Leiodes osawai* Nakane. 諭鶴羽山 (久松, 1974).  
 ヒトツメタマキノコムシ *Liadopria maculicollis* Nakane. 常隆寺山で 1 ex., を  
 採集 (20-N-1974), とともに県下では他の地で知られていない。
12. テオキノコムシ科 (Family Scaphidiidae). 1種 (24).
13. ハネカクシ科 (Family Staphylinidae). 13種 (220).  
*Oligota (Holobus) yasumatsui* Kinsten. 常隆寺山 (久松, 1973). ツヤケ  
 シヒゲフトハネカクシ *Aleochara (Emplenota) fuscicola* Sharp. 灘 (久松,  
 1973), とともに兵庫県下の他の地での産が知られていない。この仲間は小さく余り注意がさ  
 れないグループなので調査不充分といえる。
14. アリヅカムシ科 (Family Pselaphidae). 4種 (16).  
*Tyrus japonicus* Sharp. 諭鶴羽山 (久松, 1973). この仲間も全般に調査不充分  
 のグループである。この種は他に今の所記録が無い。
15. クワガタムシ科 (Family Lucanidae). 7種 (15).
16. センチコガネ科 (Family Geotrupidae). 1種 (3).  
 淡路島に産するセンチコガネは淡路島型として近畿各地の型と別けられるということである  
 が、兵庫県下産の各地点での採集標本から眺めた場合黒色に近く特に先山産の標本は形もやや  
 小型で一見異なったような感じがする (この先山産の標本は堀田氏の御厚意で筆者の手許にある)  
 が、岩屋産の標本と明石市内産の標本は割合似かよった色彩をしているように思われる。もっ  
 と個体数を集めて比較すると色々の結果が出ると考えられるが最近糞虫の数は可成り減少して  
 いるように思われる。
17. コガネムシ科 (Family Scarabaeidae). 46種 (145).  
 マメダルマコガネ *Panelus parvulus* (Waterhouse). 諭鶴羽山 (久松, 1973).  
 セマルオオマグソコガネ *Aphodius (Otophorus) brachsomus* Solshy. 岩屋 (18,  
 30-N-1943). 他に Hiogo [Waterhouse, 1875] の記録があるが現時点では淡路島  
 特産かと考えている。ヒメハナムグリ *Oxycetonia forticula* (Janson). 福良 (久  
 松, 1973). 以上3種は兵庫県下では淡路島特産である。
18. マルハナノミ科 (Family Helodidae). 1種 (6).
19. ヒラタドロムシ科 (Family Psephenidae). 1種 (3).
20. タマムシ科 (Family Buprestidae). 14種 (66).  
*Endelus japonicus* Obenberger. 三熊山 (久松, 1974). 本種は黒沢博士によ  
 ると日本には産しないようで、日本産のものは *E. sp.* アカガネエグリタマムシとして未記載  
 の種のようなのである。(黒沢, 1975).
21. コメツキムシ科 (Family Elateridae). 5種 (107).

アカアシコハナコメツキ *Paracardiophorus sequens* (Candèze), 阿万西町(久松, 1974), Kobeの産が記録されているが(1871, G. Lewis leg., Miwa, 1934). 現在淡路島だけの産と考えている。

22. ヒゲフトコメツキ科 (Family Trixagidae), 1種(2).
23. コメツキダマシ科 (Family Eucnemidae), 1種(14).
24. ホソホタルモドキ科 (Family Omethidae), 1種(2).
25. ジョウカイボン科 (Family Cantharidae), 5種(29).
26. ベニボタル科 (Family Lycidae), 1種(33).
27. カツオブシムシ科 (Family Dermestidae), 1種(13).
28. シバンムシ科 (Family Anobiidae), 2種(12).

セスジタワラシバンムシ *Xyletinus japonicus* Pic. 先山(酒井, 1975), ツガタケミゾシバンムシ *Mizodorcatoma pinicolae* N. Hayashi, 三熊山(酒井, 1974). 共に淡路島以外県下での産が知られていない。

29. ケシキスイ科 (Family Nitidulidae), 12種(70).

ウスチャデオキスイ *Caraphilus freemani* Dobson, 福良(久松, 1973), *Epuraea foveicollis* Reitter, 常陸寺山, 三熊山(久松, 1973), アミモンヒラタケシキスイ *Physoronia hillier* (Reitter), 諭鶴羽山(久松, 1973), 以上3種は淡路島にのみ産することが知られている。

30. タマキスイ科 (Family Cybocephalidae), 1種(1).

キムネタマキスイ *Cybocephalus nipponicus* Endrödy-Younga, 常陸寺山(久松, 1973), 本種は兵庫県下での地のみから知られており、この科も兵庫県ではこの地以外に知られていない。

31. ヒラタムシ科 (Family Cucujidae), 1種(11).

キイロケシヒラタムシ *Placnotus testaceus* (Fabricius), 諭鶴羽山(久松, 1974), 兵庫県下では他に産地を知らない。

32. ホソヒラタムシ科 (Family Silvanidae), 5種(7).

*Silvanoprus inermis* (Reitter), 福良(久松, 1973), *S. javanicus* (Grouvelle), 福良(久松, 1973), 共に兵庫県下で他に産地を知らない。

33. オオキシムシ科 (Family Helotidae), 1種(1).

34. キシムシ科 (Family Cryptophagidae), 3種(15).

35. ムクゲキシムシ科 (Family Biphyllidae), 1種(2).

36. コメツキモドキ科 (Family Languriidae), 1種(9)

ヒラナガムクゲコメツキモドキ *Cryptophilus obliteratus* Reitter, 常陸寺山(久松, 1973), 本種も県下では淡路島にのみ産する。

37. オオキノコムシ科 (Family Erotylidae). 1種 (30).  
 セモンホソオオキノコムシ *Dacne picta* Crotch. 論鶴羽山 (久松, 1973). この種も県下で他に産地が知られていない。
38. ヒメハナムシ科 (Family Phalacridae). 1種 (10).  
 エムモンチビヒメハナムシ *Stilbus polygramma* Flach. 先山, 福良 (久松, 1973), 兵庫県他に産を知らない。
39. ミジンムシ科 (Family Corylophidae). 2種 (4).
40. テントウムシ科 (Family Coccinellidae). 16種 (64).  
 ムモンヒメテントウ *Nephus kompirasanus* (H. Kamiya). 先山, 三熊山 (久松, 1974), オニヒメテントウ *Scymnus (Pullus) gigantes* (H. Kamiya). 三熊山 (宮武, 古木, 1973), 両種共兵庫県での産は淡路島だけである。
41. テントウダマシ科 (Family Endomychidae). 2種 (17).
42. ミジンムシダマシ科 (Family Discolomidae). 1種 (2).
43. ヒメマキムシ科 (Family Lathridiidae). 5種 (8)  
*Corticaria japonica* Reitter. 福良 (久松, 1973), この地でのみ知られている。
44. ツツキノコムシ科 (Family Cisidae). 1種 (8).
45. ゴミムシダマシ科 (Family Tenebrionidae). 9種 (80).  
 ニセハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia vestita* Marseul. 阿万西町 (久松, 1974), 他の海岸線での産が知られていない。
46. ハムシダマシ科 (Family Lagriidae). 2種 (9).
47. クチキムシ科 (Family Alleculidae). 2種 (15).
48. チビキカワムシ科 (Family Salpingidae). 1種 (2).  
 マメチビキカワムシ *Lissodema myrmido* Marseul. 論鶴羽山 (久松, 1974), 本種も淡路島産だけ知られている。
49. ハナノミ科 (Family Mordellidae). 3種 (38).  
 チャオビヒメハナノミ *Mordellina (Pseudomordellistena) brunneotincta* (Marseul). 論鶴羽山 (酒井, 1974), ナミアカヒメハナノミ *Falsomordellina luteoloides* (Nomura) (酒井, 1973), 共に県下での産は他に知られていない。
50. カミキリモドキ科 (Family Oedemeridae). 1種 (21).
51. アリモドキ科 (Family Anthicidae). 4種 (23).
52. ニセクビソムシ科 (Family Aderidae). 1種 (2).  
 オビモンニセクビソムシ *Aderus quadrimaculatus* Marseul. 福良 (久松, 1973), 本種も淡路島からのみ知られている。
53. カミキリムシ科 (Family Cerambycidae). 60種 (252).

トゲヒゲヒメカミキリ *Allotraeus rufescens* (Pic), 洲本市安乎町から堀田氏が記録されている(1973)。兵庫県下からは西宮市から関氏が *A. asiaticus* Schwarzer なる学名で記録されたのがあるだけで(1939)、現在本種は淡路島からのみ知られている種と考えている。

チャイロヒメカミキリ *Ceresium similee* Gahan, 淡路島南部海岸地のフェリーポート港の事務所の蛍光灯に飛来したものを採集したとの記録がある(18, 長尾, 1969, 堀田, 1973)。

カミキリムシ類は割合調べられているようであるが地域的にハナカミキリ類が大変少ない点が大きな特徴である。

54. マメゾウムシ科 (Family Bruchidae), 1種(10)。

55. ハムシ科 (Family Chrysomelidae), 94種(252)。

ヘリグロタマトビハムシ *Sphaeroderma ohkuboi* Chūjō, 福良(久松, 1974), シンダゴグミトビハムシ *Zipanginia tuberosa* Ohno, 論鶴羽山, 成相峠, 鮎屋(大野, 1969), 2種共兵庫県下ではこの地のみである。

56. オトシブミ科 (Family Attelabidae), 10種(49)。

57. ホソクチゾウムシ科 (Family Apionidae), 3種(12)。

ケブカホソクチゾウムシ *Apion (Catapion) griseopubescens* Roelofs, 福良(宮武, 1973), 兵庫県の他の地では産地が知られていない。

58. ゾウムシ科 (Family Curculionidae), 35種(203)。

ハイイロヒョウタンゾウムシ *Scepticus uniformis* Kōno, 福良, 阿万西町(宮武, 1973), チビクチカクシゾウムシ *Deiradocranoides setosus* Morimoto, 論鶴羽山(宮武, 1973), クスアナアキゾウムシ *Hylobius orientalis* Motschulsky, 先山(堀田, 1975), 上記3種は淡路島からのみ知られている種である。

59. オサゾウムシ科 (Family Rhynchoridae), 4種(12)。

ニセキイサビゾウムシ *Dryophthoroides sulcatus* Roelofs, 先山(宮武, 1973), 淡路島からのみ知られている。

60. キクイムシ科 (Family Scolytidae), 1種(44)。

ウスキイロキクイムシ *Cnestus murayamai* Schedl, 論鶴羽山(宮武, 1974), 本種も淡路島から知られているだけである。

以上淡路島産の甲虫類として現在わかっているのは60科、447種である。始めに記したごとく現在の兵庫県産甲虫類は101科、2,634種がわかっているので兵庫県産の甲虫類の約20%程度が淡路島に産することになる。但し全般的に調査不充分だという印象を受ける。例えば、オサムシ科、ハネカクシ科を例に見てももっと多くの種がいると考えられる。従って之からの調

査でより一層種類は増えることと思われるし、新知見の現われてくる可能性も多い(尤も面積から云えば三原郡・津名郡を合した所謂淡路島の面積は兵庫県全体の5.8%であるから、この点から見れば種類数は大変多いことになる)。

一般的には兵庫県内での南に位置している関係から北方系の種が少ないのは当然であるが、海浜性の甲虫類などは兵庫県の他の地がほとんど駄目になった現在大切に保護してやり度いものである。

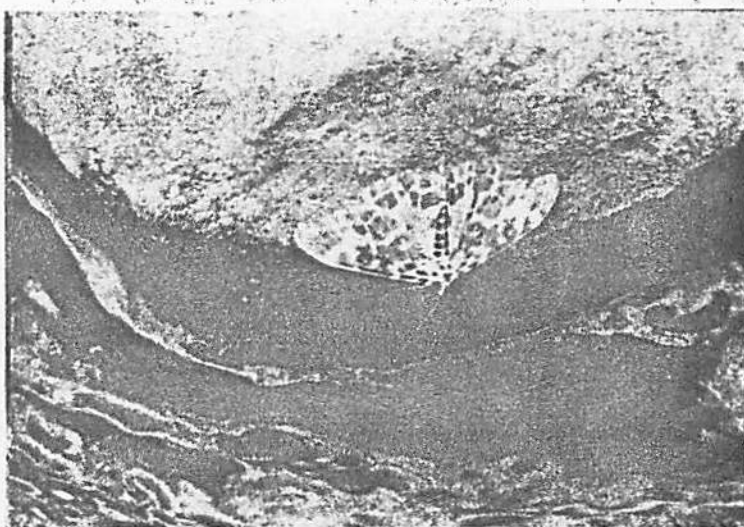
淡路島だけで知られている種が44種ある。中国地方から兵庫県下に点的に分布しているアキオサムシを産したり、可成り変わった形態のセンチコガネがいたり、北方系のチャイロヒラタセスジムシを産したり等々この島の甲虫相は思ったより豊富である。ただ本四架橋とか島内縦貫道路の建設とか自然破壊的な計画が多くある。たゞ何んでも反対・反対ということではなく自然との調和を考えた計画の実施を切に望みたいものである。

(10 - IV - 1976)

## クロフオオシロエダシャクの吸水について

登 日 邦 明

蛾類の吸水活動は、アメリカでは古くから興味深い観察が多くなされており、シャクガの1種ヤカギバの1種が、夜間に水を呑み込んで尻から出すという“pumping”活動などはよく知られているところであるが、本邦では一般的な吸水例もほとんど報告されておらず、2-3の例を知るのみである。



吸水するクロフオオシロエダシャク *Pogonoprgia nigralbata nigralbata* Warren